

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島慎二郎

2023年5月号

インボイスと契約書

請求書が発行されない場合はどうするか？

インボイス（適格請求書）制度が今年令和5年10月1日より開始されます。同制度開始後は、請求書に次の項目を記載する必要があります。

- | | | |
|--------------------|---------|-------------|
| ① 登録番号 | ② 取引年月日 | ③ 取引内容 |
| ④ 税率ごとの対価合計額及び適用税率 | | |
| ⑤ 税率ごとの消費税額等 | | |
| ⑥ 書類を受ける事業者氏名または名称 | | ※赤字が追加される項目 |

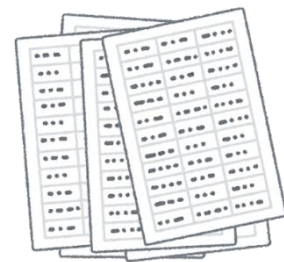
これらが記載されていない場合は、請求書を受ける側が消費税の計算上不利になってしまう（損をする）可能性があります。

そのため、インボイスをしっかりと作りましょうという話になるのですが、自動引き落としの支払い方法によっている場合など、請求書（インボイス）や領収書等が毎回発行されないこともあります。そのような場合にはどのように対応したらよいのでしょうか。

ひとつの書類でなくてもよい

このような場合でもインボイスは必要とされています。ただし、なにもひとつの請求書にすべての項目（前述の①～⑥）を入れ込む必要はなく、複数の書類で記載事項を満たせばよいとされています。

例えば、家賃などは継続的に同額が支払われ、毎月請求書を発行しないケースも多いかと思いますが、そのような場合には契約書に「②取引年月日」以外の事項を記載しておき、「②取引年月日」に関しては通帳（支払日が記帳される）を併せて保存しておくことでインボイスを完成させることができます。現金振り込みをする場合でも、振込時の振込明細を契約書と併せて保存しておけばよいとされています。



また、インボイスは一定期間の取引をまとめて交付することも可能とされていますので、①～⑥が記載された4月～翌3月までの1年分のインボイスをもらうという対応も可能です。

インボイス制度の開始は令和5年10月1日からですが、それ以前からすでに契約を締結しているものも多いかと思います。その場合には、契約書を再作成するほか、記載事項で不足している部分を別途覚書等で補完するという対応でもかまいません。

このように、複数の書類や一定期間の取引をまとめることで、①～⑥の記載事項を満たせばインボイス対応としては十分ということです。

途中で相手が登録事業者でなくなったら??

取引相手（請求書等の発行元）がインボイスを発行することのできる登録事業者かどうかは、基本的に自分で調べなければなりません。

前述のように契約書を締結し、①～⑥の記載事項を満たしてインボイス対応していたとしても、途中で相手が登録事業者でなくなる可能性もあり得ます。そのような場合において、相手が通知してくれればよいですが、通知してくれない場合には、自分で気が付かなければなりません。国税庁のQ&Aにおいても、相手が登録事業者かどうかは必要に応じて確認してくださいとされています。

しかし、通知を受けずに気付くのは実際上難しいと思われまます。相手先に不便、面倒をかけるのは申し訳ないことです。登録事業者の状況に変化があった場合には、相手先にきっちりと連絡を入れる方が丁寧で好印象です。



10月1日前から対応始めてもよい

インボイス制度では①～⑥の記載が必要とされていますが、制度開始の10月1日をまたずに、現行の請求書に「①登録番号」等を記載しておくことは問題ないとされています（ただし登録事業者になっていないのに登録番号を記載するのはダメです）。自社で発行する請求書はもちろん、請求書発行してもらう相手先との間であらかじめ請求書の形式を確認しておくというの準備として良いと思います。

制度開始まで半年を切りました。非常に煩雑なこともありますが、しっかりと対応していくようにしましょう。

（文章 石島慎二郎）



リアル・ラピュタ

文章 市村渚



大型連休はどのように過ごされましたか？今年は規制が緩和されたので、いつもより遠出をしてお休みを楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか？これから梅雨の時期なので、外に出るのが億劫になってしまいますが、その先には夏が待っています！それだけで、気持ちが明るくなります！

さて、突然ですが、スタジオジブリの作品はお好きですか？私は大好きで、特に「天空の城ラピュタ」が好きです。幼い頃、周りの子は、アンパンマンやプリンセスに夢中になる中、私はラピュタを何度も繰り返し見ているという不思議な子供でした。作品は、私が生まれる前のものですが、幼い頃も、また今見ても、変わることなく、わくわくさせてくれることは、本当にすごいことだと思います。

そして、少し前に、ラピュタの世界にそっくりの島があると聞き、ラピュタファンでありながら、全く知らなかったことを悔いながら、行ってきました。その島は、「猿島」という東京湾最大の無人の自然島です。今回は少しでも、ご紹介したいと思います。

<猿島>

東京湾に浮かぶ唯一の自然島です。360度を海に囲まれた自然溢れる島は、かつて日本軍の要塞として使用され、第二次世界大戦終了まで東京湾防御の要塞島として、重要な役割を果たしました。現在は、横須賀市が管理する猿島公園になりました。自然を求めて多くの観光客が訪れるリゾートアイランドとして利用される今も、貴重な遺跡が多数残っています。

これらの要塞跡が、戦後、大きな開発がされずに自然に還っていき、程良く廃墟感のある様子が、「天空の城ラピュタ」の世界に例えられているようです。猿島に渡るには、最寄り駅の京浜急行の横須賀中央駅で下車し、三笠棧橋から出港するフェリーを利用します。フェリーに乗ってからは10分程で到着します。東京から約1時間で行くことができるので、日帰りで気軽に遊びやすいのも魅力です。



<要塞跡の切通し>



切通しは、かつて軍隊が使用し、高さ5~6mの壁ができるよう、山を切り開いて空から軍が発見されないよう道を作りました。切通し沿いには、実際に使われていた兵舎や弾薬庫がそのまま残っています。遺産と植物が融合している景観は、とても神秘的です。

坂を登りきった先に、この切通しがあるのですが、海辺の熱い空気とは違い、涼しくて空気が澄んでいるようで、風が吹くと、とても心地よかったです。

<フランス積みのレンガ建造物>

兵舎や長いトンネルは、「フランス積み」とよばれる方式で建造された、レンガ造りの建造物で、日本に数か所しかない貴重なものです。レンガの長手と小口が交互に積み上げられた美しい外観が特徴です。

右写真は、第2砲台第1棲息掩蔽部跡(せいそくえんぺいぶあと)です。状態はとてもきれいでしたが、実際に使われていたと思うと、今のこの平和のありがたみを感じました。



猿島は、全体的に自然が多く、樹木が生い茂り、それにより、廃墟感が強く、本当にラピュタの一場面を切り取ったような風景を見ることができました。他にも、「愛のトンネル」と呼ばれる旧第1砲台関連施設や防空砲台など、見どころはたくさんあります。また、BBQや投げ釣り、夏には海水浴も楽しむこともできるので、観光とあわせて楽しむのも、これからの季節にいいと思います。

歴史を感じることができ、レジャーもあり、何より、ラピュタの世界に浸ることのできる猿島に、機会があれば、ぜひ行ってみてください。

☆ **バルス！！** ← この意味がわかる方は、ラピュタファン間違えなしなので、特におすすめです！